

医学系研究に関する情報公開および研究協力のお願

聖隷浜松病院では、当院の臨床研究審査委員会の承認を得て、下記の医学系研究を実施しております。

研究の実施にあたり、対象となる方の既に存在する試料や情報、記録、あるいは、今後の情報、記録などを使用させていただきますが、対象となる方に新たな負担や制限が加わることは一切ありません。

ご自身の試料や情報、記録を研究に使用してほしくない場合や研究に関するお問い合わせなどがある場合は、以下の「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。研究への参加を希望されない場合、研究対象から除外させていただきます。研究への参加は自由意思であり、研究に参加されない場合でも、不利益を受けることは一切ありませんのでご安心下さい。

| | |
|--------------|--|
| 研究課題名 | 当院における外傷患者に対する内視鏡手術の有用性に関する検討 |
| 研究責任者 | 伊良部真一郎 |
| 研究実施体制 | 当院における単施設後ろ向き観察研究 |
| 研究期間 | 臨床研究審査委員会承認日 ～ 2024年3月31日 |
| 対象者 | 2019年4月～2021年6月の期間に当院に外傷で受診され、腹腔鏡や胸腔鏡での手術を受けられた方 |
| 研究の意義・目的 | 外傷患者に対する内視鏡手術については、世界中でその有効性に対して議論が交わされており、現在においてもその結論はまだ出ていない。不要な開腹が避けられるなどの有用な面もあれば、合併症や損傷の見逃しといった欠点も報告されている。 当院において外傷症例に内視鏡手術を施行した症例を後ろ向きに検討し、既存の報告と比較を行い、新たに有用性や問題点などを抽出する。 |
| 研究の方法 | ・対象患者について、診療録から以下の項目の調査を行う。 手術方法、術前診断、術中所見、術後診断、手術時間、年齢、受傷機転、バイタルサイン、出血量、入院期間など ・後述の通り、個人を特定しうる情報に関しては使用しない |
| 個人情報の取扱い | 本研究で利用する資料や情報、記録からは、直接ご本人を特定できる個人情報は削除した上で、研究成果は学会や雑誌等で発表されます。取り扱う情報は、厳密に管理し、外部に漏洩することはありません。なお、個人情報の利用目的等について詳細をお知りになりたい場合は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。 |
| 個人情報開示に係る手続き | 個人情報開示の手続きについては、「問い合わせ窓口」にご相談下さい。 |
| 資料の閲覧について | ご要望があれば、開示可能な範囲で、この研究の計画や方法について資料をご覧いただくことができます。ご希望の方は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。 |
| 問い合わせ窓口 | 聖隷浜松病院 肝・胆・膵外科 伊良部 真一郎 TEL:053-474-2222(代表) 9:00～17:00 平日 |